

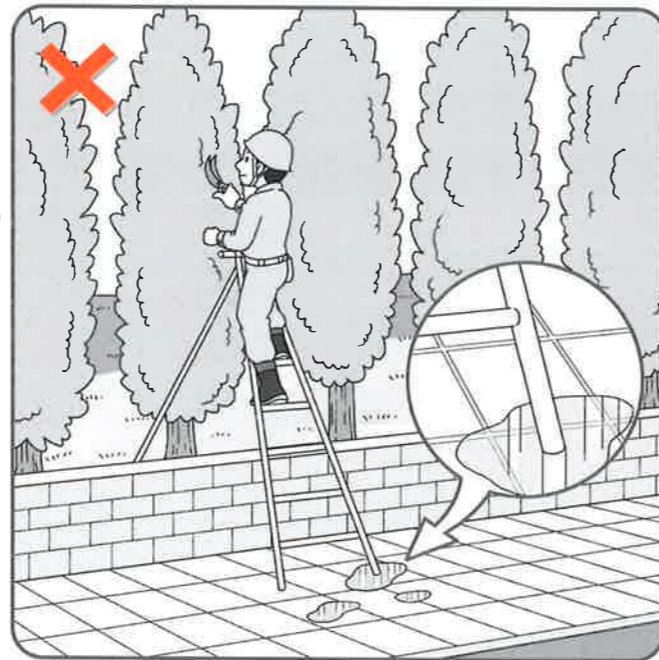


摘み取ろう ヒヤリハットの 危険な芽



⑩ クレーン作業の事故対策を

- 作業範囲にある障害物はあらかじめ撤去しておく。
- 玉掛・クレーン作業は必ず有資格者が行う。
- 合図者を配置する。
- クレーンの操作時は、全てのものが見渡せる場所にいる。
- 石の近くに人がいないようにする。



⑫ 思わぬ剪定枝のバウンドに注意

- 作業員の適正配置、安全教育を徹底する。
- 作業責任者の合図の徹底を図る。
- 大きな枝はロープを使って下ろすようにする。



⑪ すべりやすい時期の転倒災害に注意

- 安全な作業環境の確保を徹底する。
- すべりにくい地下足袋・安全靴を着用する。
- 水たまりや凍結場所など作業前に確認する。
- タイルの上はすべりやすいので、滑り止めなどを使用する。
- 三脚には開き止めを必ずかける。



危険の芽 予知して摘み取る 庭のプロ

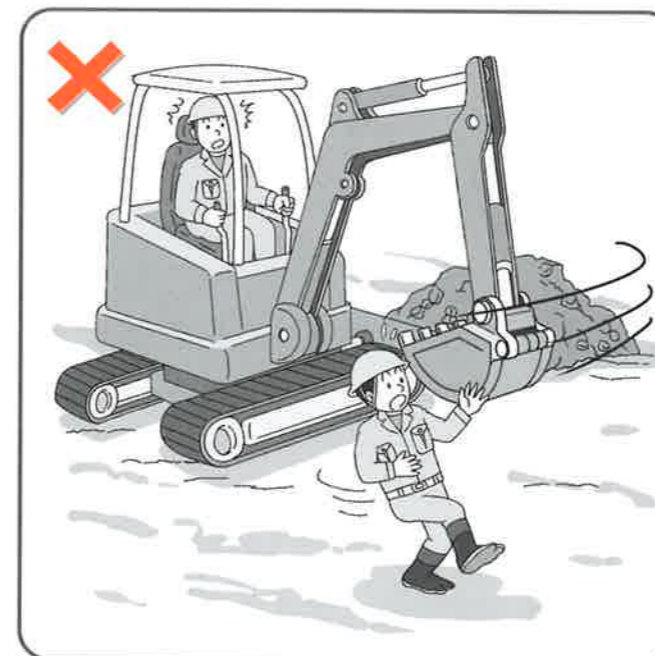


① 安全の基本は正しい服装から

- 新しい現場は、どこにリスクがあるかよくわからず、入場初日の死傷災害が多発しています。しっかりとした安全教育の実施や、作業に適した服装と保護帽、安全帯等の正しい着用を心がけましょう。

② 工具の正しい使い方を再確認しよう

- 作業着等が回転部分に巻き込まれないように、身なりを整える。
- 移動するときは動力を切り、カバーをつける。
- 作業前に空き缶等を片付け、両手で作業を行い、防護めがねをつける。



③ 重機災害を撲滅する

- オペレーターと作業員の合図を徹底する。
- 運転する時は工具ベルト・安全帯をはずし、操作レバー等に引っかからないようにする。
- 重機の作業半径内に立ち入らない。
- 作業ヤードの表示を明確にする。
- オペレーターは、ブームの回転時に第三者に注意する。



整えよう 庭の手入れと身の安全



④ 刈払機による小石等のはね防止を

- 草刈り箇所の事前点検を行う。
- 場所によっては飛散防止ネットを活用する。
- 石や空き缶など障害物の撤去を行う。
- 防護めがね、すねあて等を着用する。
- 作業時には作業員の間隔（5m以上）をあけるようにする。



⑥ ハチ刺されによる被害に気をつけよう

- スズメバチの活動時期（夏期）は特に注意する。
- 作業前に必ずハチの巣があるかどうかの確認をする。
- ハチ対策の殺虫剤を携行する。
- 刺された時に備えて解毒薬を携行する。

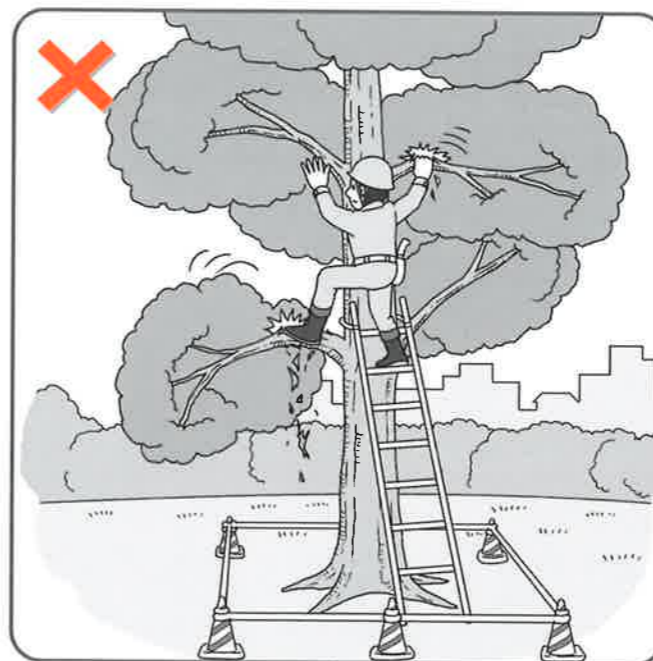


⑤ 熱中症は作業初日が最も多い

- 身体が熱に慣れることが重要です。自覚症状の有無にかかわらず、定期的な水分と塩分を摂取しましょう。また、日頃の体調管理が重要で、十分な睡眠をとり、深酒等はしないようにしましょう。

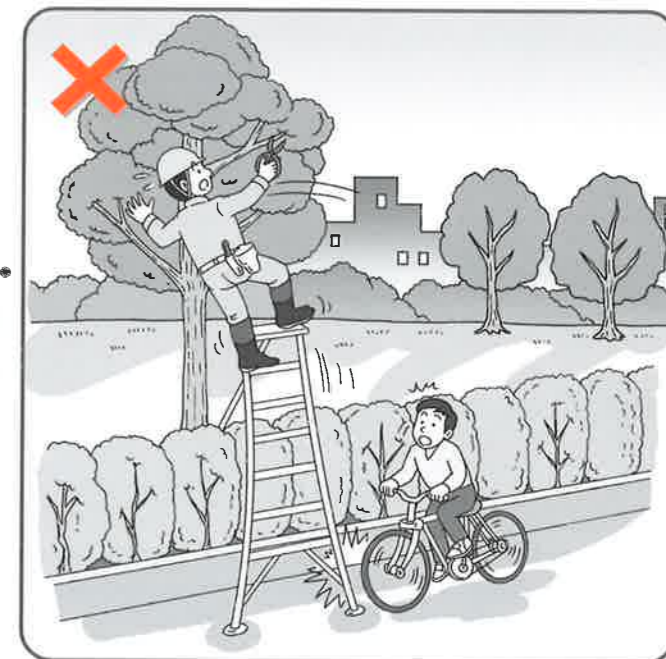


あなどるな 慣れた工具や 登り降り



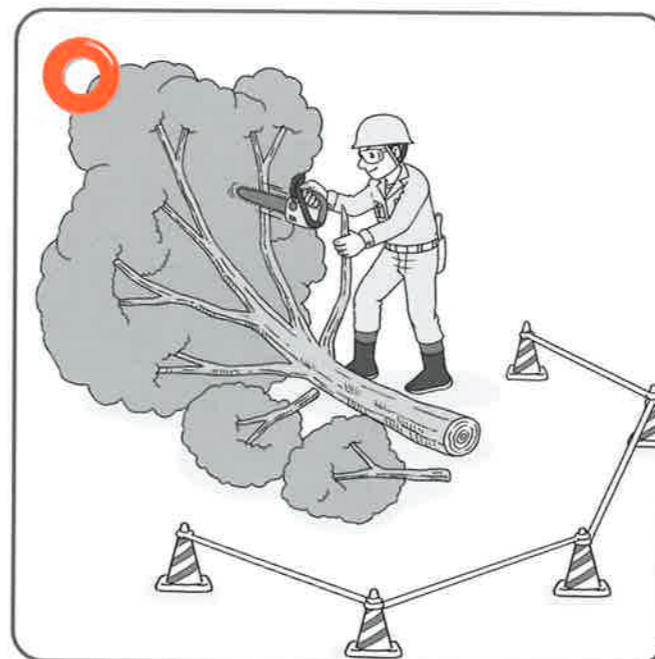
⑦ 高木剪定作業では、足場等に注意を払おう

- はしごの上部を固定する。
- 足や手をかける枝は十分に点検し、折れそうな枝には足や手をかけない。
- 木の上での作業には、安全帯を使用する。



⑧ 三脚からの転落死亡災害が多発しています

- 公道上に三脚の足が出る場合は、必ず誘導員を配置する。
- 確実に作業区域を設置し自転車、歩行者などの進入を防ぐ。
- 三脚の天端には乗らない。
- 2m以上の高さの場合は、安全帯を使用する。
- 三脚には開き止めを必ずかける。



⑨ 枝の片付け作業は周りに注意

- チェーンソーを無理に木に押しつけない。
- 作業時に移動するときはスイッチを切り、使用するときには、高速の空転をしない。
- 枝を切る際に目にゴミが入らないように防護めがねを着用する。
- 関係者以外立ち入り禁止の措置をする。